

2016年3月24日
株式会社フィナンテック



フィナンテック『東京 IPO IPO of the Year 2015 Awards』を選定

IR コンサルティング会社の株式会社フィナンテック（Finantec Co., Ltd., 本社：東京都中央区、代表取締役：甲斐昌樹、以下、「フィナンテック」）は、2015年度の日本国内での IPO ディールについて、個人投資家および機関投資家へ約1ヶ月半にわたるアンケート調査をもとに東京 IPO マガジン編集部審査員を加え、2015年度の国内 IPO 市場における優良企業を選出いたしました。

相対的には、昨年上場した 92 社のうち、初値が公募価格を割り込んだ銘柄は、8 社のみ。全体のほぼ 90%が公募価格を初値が上回っていました。主幹事による慎重な初値形成のために IPO ディスカウントが効いていると思われ、初値は公募価格を上回る一方、昨年 IPO をした 92 社のうち 30%以上の企業は、公募価格が直近の株価を下回る現象にありました。また、全体の約 70%は、初値を形成後、株価が下落する傾向にありました。

テーマ性のある銘柄への投資が進んでおり、キーワードは、「IoT, OtoO, AI, Fintech」 関連などが目立ちました。今回の IPO of the Year 2015 Awards の選定に関しては、IR を積極的に取り組んでおり、かつ、投資に対するリターンとして株主還元のマインドを高くもち、投資家との対話を積極的に行っていると思われる企業に多くの票が入りました。具体的には、マーケットにおける株価評価、時代のテーマにあった話題性や、機関投資家向けの個別訪問取材への対応、工場見学会、個人投資家向け説明会の実施、企業のホームページの充実など、IR活動が積極的である企業、業績・配当の上方修正を行い、流動性の向上のために株式分割を実施、株式分割後も株価が上昇している企業など、IR を積極的に行うだけではなく、資本市場を意識した戦略的な資本政策を軸においた企業活動が伺えた企業を選出しています。特に、IPO 後は、先行投資が優先されるため、足下の業績は、前年比において成長率が鈍化するよう見える企業が多い中、業績の上方修正や株主還元を着実に実施する企業であり、かつ、IR 活動を積極的に展開している、バランス感覚に長けた企業を選定基準としています。

東京 IPO 主催による「IPO of the Year 2015」受賞一覧企業（上位 5 位までを選定）は下記の添付資料をご高覧ください。

「東京 IPO IPO of the Year 2015」



第1位 メニコン (7780・東1部・本社所在地：愛知県名古屋市)

事業詳細：ハード・ソフトコンタクトレンズ、1日、2週間、1ヶ月交換使い捨てコンタクトレンズを製造・販売するほか、コンタクトレンズ用ケア製品の開発、製造、販売を行う。その他事業に動物用医療製品等の開発、販売（動物医療事業）、稲わらの分解促進剤、家畜排泄物の堆肥化促進剤等の開発、販売（環境バイオ事業）、生殖補助医療および先端医療分野の製品開発、販売（ライフサイエンス事業）、販売店スタッフ養成スクールの運営、当社グループに対する各種総務や営繕、人事派遣等を行う。

総評：2015/6/25に東証1部上場。公募価格は1,700円。初値は2,950円（初値騰落率73.52%）上場後も初値をアウトパフォームしており、機関投資家からの票および個人投資家からの票を多く集めた。2/12の第3四半期累計における営業利益は前年比80%を超過しているが、通期業績予想は営業利益ベースで11%増と通期の業績予想は据え置きとしている。IR活動は機関投資家向けの個別訪問取材、工場見学が評価され、個人投資家からは個人投資家セミナー、ホームページの充実が評価されている。



第2位 ハウスドゥ (3457・東マザ・本社所在地：京都府京都市)

事業詳細：フランチャイズ事業は直営店16店舗を含め、北海道から沖縄まで285店舗（出店252店舗、出店準備中33店舗）を展開。不動産売買事業は中古住宅買取再生販売、新築戸建住宅販売、住宅用地の開発、一棟収益不動産の再生販売等、当社自ら不動産を取得し、付加価値を付け、一般顧客・投資家へ販売する事業を行う。不動産売買仲介事業では合計12店舗の直営店にて展開。また、リフォーム事業は合計8店舗の直営ショールームにてサービスを行う。住宅（新築戸建）事業では7店舗で新築住宅の建築請負を行う。

総評：2015/3/25に東証マザーズ上場。公募価格は3,600円。初値は5,300円（分割前ベース）。上場後2ヶ月前後で投資単位金額の引き下げ、流動性向上と投資家層の拡大を図るために1:5の分割を実施し、配当予想は上方修正のリリースを公表。月次でIRリリースが行われ、開示体制が整っており、8/21には中期経営計画3ヶ年を策定している。株主還元も積極的であり、2016/1/18付で、「株主優待の導入」をリリースしている。（株主優待：保有する株式数に応じたポイントが加算され、株主限定の特設インターネット・サイトにおいて、そのポイントと食品、電化製品、ギフト、クオカード、当社オリジナルグッズに交換出来る）最も評価されるべきが、第2四半期累計の業績予想において営業利益が76%増、経常利益97%増と大幅な上方修正をリリースしている点であり、2/4に2度目の株式分割1:2を実施、市場変更も見据えた株主数の充足を図るための立会外分売を実施している。株価は2度の株式分割をこなし、上昇トレンドにあり、資本政策とIR、業績、トータルでみたバランスのよい優良企業といえる。



第3位 テラスカイ (3915・東マザ・本社所在地：東京都中央区)

事業詳細：ソリューション事業は「クラウドインテグレーション」、「クラウドコンサルティング」、「クラウドERP」の3サービスを中心として提供。製品事業はSaaSベンダーとしてクラウドサービスの開発・提供をおこなっており、国内外で製品販売を展開。利用期間に応じた月額サービスで提供している。

総評：2015/3/26に東証マザーズ上場。公募価格1,700円。初値は7,650円。直近の株価は12,000円台。同社は、クラウドシステムの導入支援・開発事業を展開。米国の大手・セールスフォース社と業務提携しており、社長の佐藤氏はIBM出身。日本郵政グループなどのロングテールの顧客情報管理に使われるCRMシステムの導入支援があり、「クラウドコンピューティング」という時代のテーマ性と将来性が高く評価されている。アマゾンのエンジニア集団のサーバーワークスと資本業務提携など、話題性がある。2016/1/14に通期業績予想を上方修正。厚切りジェイソンもPR材料となっており、個人投資家からの票を多く集めた。



第4位 中村超硬 (6166・東マザ・本社所在地：大阪府堺市)

事業詳細：(電子材料スライス周辺事業) 太陽電池やLED、パワーデバイスなど、今後のエネルギー関連業界で需要が伸びると予測される各種電子材料ウエハの製造工程の中で重要な工程といえる、スライス加工で使用するダイヤモンドワイヤの開発・製造・販売を行う。(特殊精密機器事業) ダイヤモンドや超硬合金、セラミックスなど耐摩耗性の高い硬脆材料を用いた特殊精密部品、工具の開発・製造・販売を行う。(化学繊維用紡糸ノズル事業) 主に化学繊維用紡糸ノズル及び周辺部品、不織布用ノズル・同装置等の設計・製造・販売を行う

総評：2015/6/24に東証マザーズ上場。公募価格は1,700円、初値は1,901円。直近株価は5,400円。直近2/25に株主に対する利益還元を経営上の重要課題と認識し、上場記念配を加え、通期で10円の配当を予定している。通期の業績予想を上方修正し、売上は6,674百万円(前回予想との計画比0.4%増)、営業利益で1,410百万円(同46.2%増)を見込んでいる。



第5位 インベスターズクラウド (1435・東マザ・本社所在地：東京都南青山)

事業内容：土地情報の提供・デザインアパートの企画、施工、賃貸管理等。

2015/12/3 東証マザーズ上場。公募価格1,870円、初値3,615円。直近株価9,700円台。

2016/2/5に通期業績予想を売上7%増の21,510百万円、営業利益で30%増の1,895百万円の上方修正を行い、配当予想を普通配当15円に記念配当を5円プラスし通期で20円を予定。

個人投資家からの票を多く集めた。



第5位【同列】 ブランジスタ (6176・東マザ・本社所在地：東京都渋谷区)

事業内容：電子雑誌出版事業。

2015/9/17 東証マザーズ上場。公募価格 450 円、初値 647 円、直近株価 1,549 円。

AKB48 を初め、数々のヒットを手掛けた作詞家の秋元 康 氏 を総合プロデューサーとして迎え、従来のロールプレイングゲーム、バトルゲーム、パズルゲームとは一線を画した、様々なテーマやジャンルでプレイできる B to B to C のビジネスモデルとして、これまでにない斬新なオンライン・スマホゲームの展開等、話題性により、個人投資家からの票を多く集めた。

東京 IPO について

東京 IPO は IR コンサルティング会社の株式会社フィナンテックにより運営され、2000 年 1 月より日本国内の IPO 情報を無料で提供している IPO サイトです。月間 400 万 PV のサイトアクセスと 8 万人のメールマガジン会員をもつ、国内有数の老舗 IPO サイトとして広く個人投資家、機関投資家、引受証券会社等、資本市場に関わる人々に広く認知されており、上場企業の大量保有報告書情報等、開示情報の即時リリース（有料）は資本市場関係者にも幅広く活用されています。

また、このスケールメリットを活用し、年間 20 回以上の個人投資家セミナーの開催と IPO 企業へ取材を行い、最新情報を提供することで個人投資家への啓蒙活動を推進しています。

フィナンテックについて

株式会社フィナンテックは、独立系 IR 会社として日本企業に戦略的 IR コンサルティング、並びに、資金調達等の財務アドバイザー業務を提供しています。また、これまで国内における IR コンサルティングと並行して、「香港 IPO 倶楽部」の運営を通じて香港株式市場を中心に、シンガポールや台湾株式市場への IPO・財務コンサルティングを提供してまいりました。財務面でのサポート以外にも、現地ビジネスパートナーとのビジネスマッチング、JV 設立等の業務支援等を行っています。

【フィナンテック 会社概要】

社 名： 株式会社フィナンテック

代 表： 代表取締役 甲斐昌樹

住 所： 東京都中央区日本橋茅場町 1-8-1 茅場町一丁目平和ビル 2 階

ホームページ： <https://www.finantec-net.com/>

※本件に関する問い合わせ： 東京 IPO マガジン編集部 <http://www.tokyoipo.com/>

TEL:03-4500-6881 Fax:03-4500-6888

E-mail:editor@tokyoipo.com